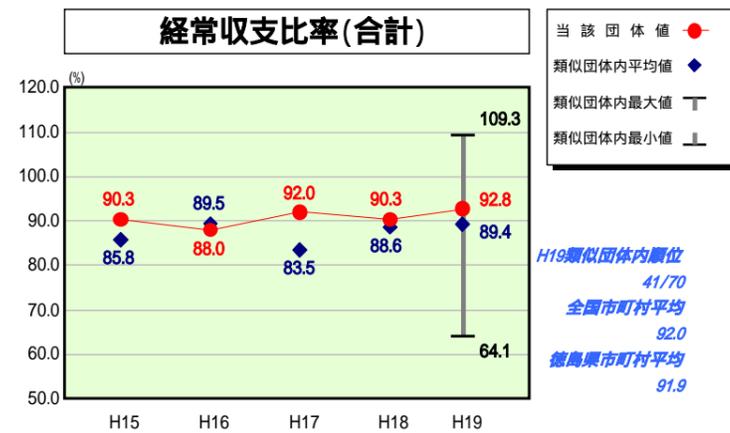


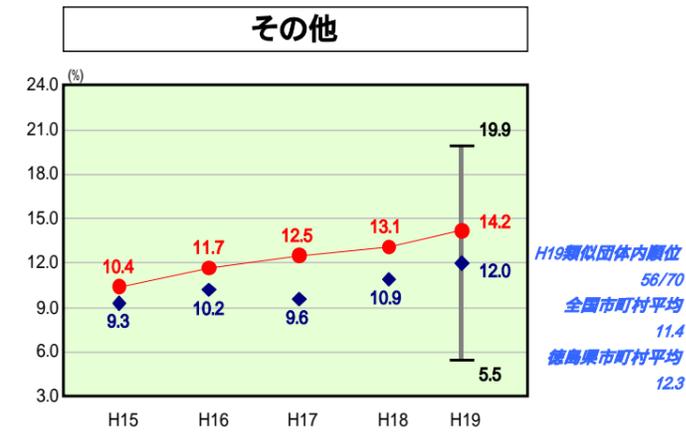
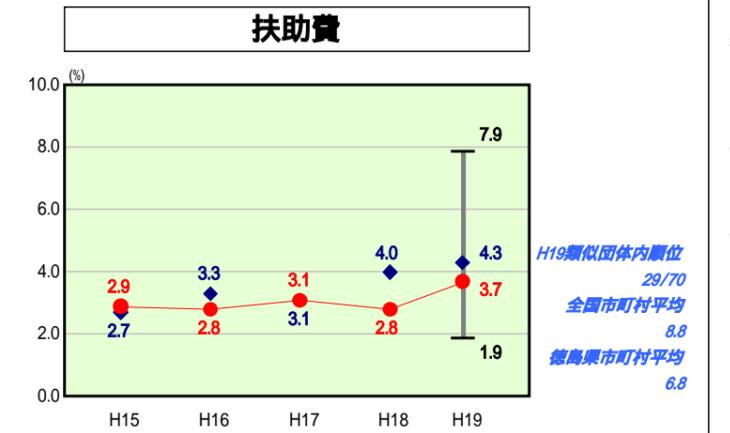
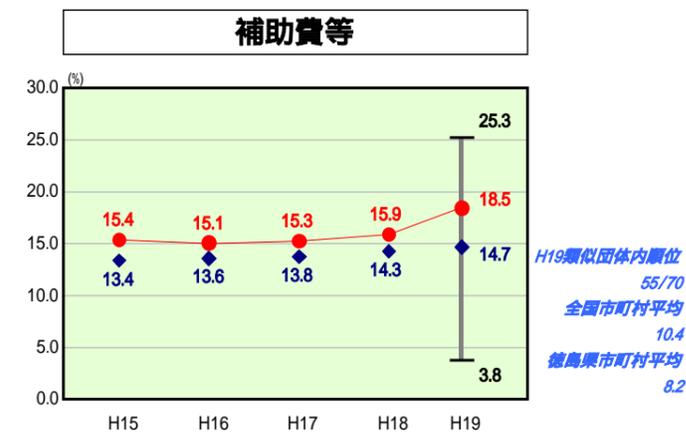
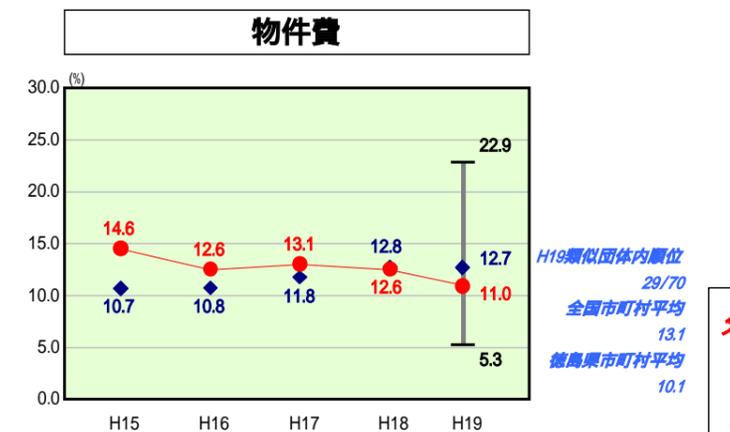
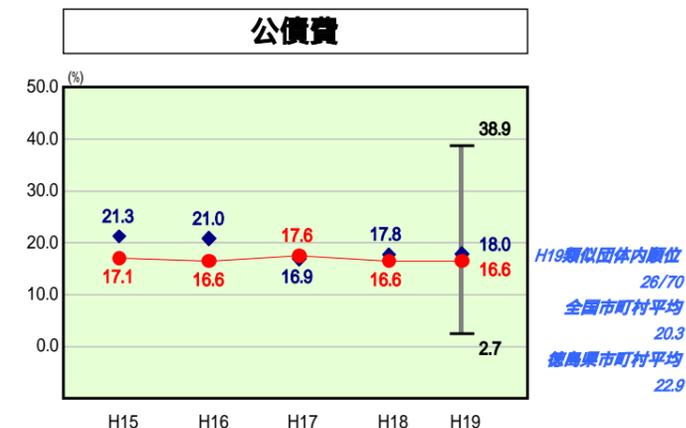
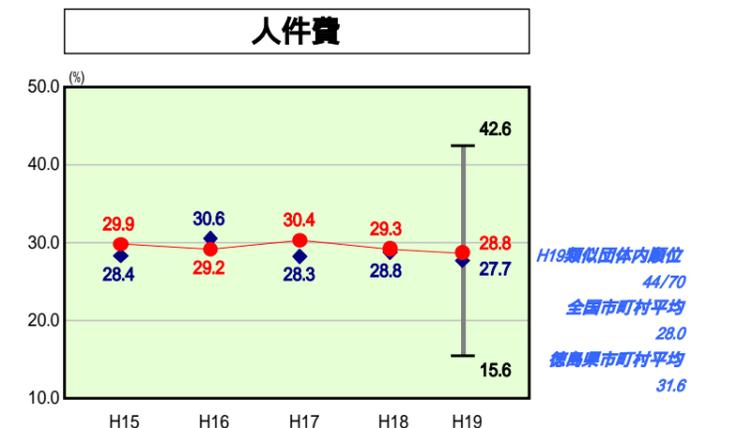
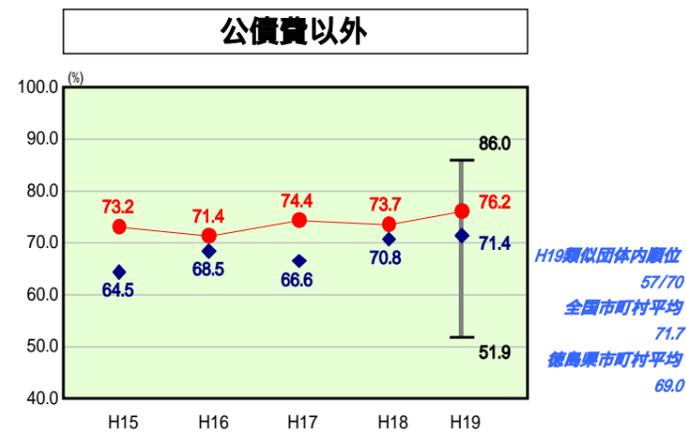
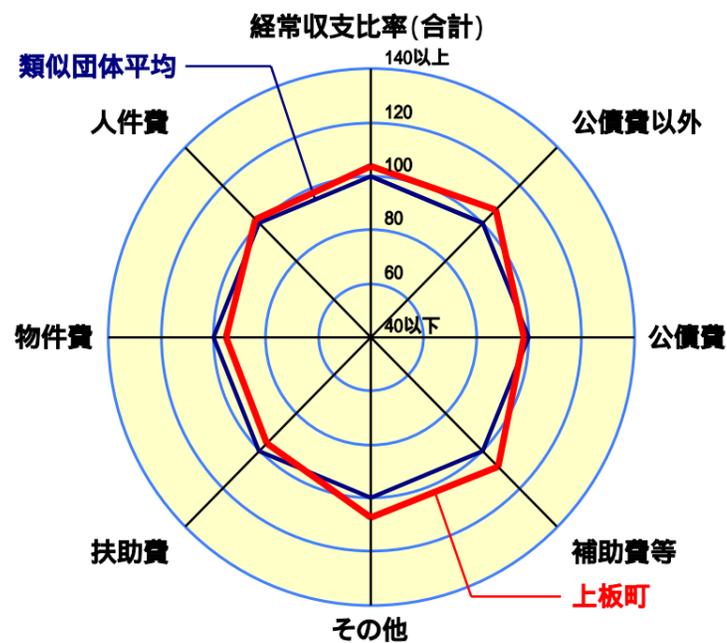
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

徳島県 上板町

経常収支比率の分析



人口	13,276人(H20.3.31現在)
面積	34.51 km ²
歳入総額	4,171,268千円
歳出総額	3,989,402千円
実質収支	141,253千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

(経常収支比率の分析)
 扶助費や一部事務組合への負担金及び特別会計等への繰出金が増加し、類似団体平均を上回って92.8%となっている。今後においては、町税等の徴収強化や職員の新規採用の抑制等を掲げる集中改革プランへの取組を通して義務的経費等の節減に努める。

(人件費及び人件費に準ずる費用の分析)
 類似団体平均と比較して、人件費の決算額が低くなっている要因として、ゴミ処理業務・消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費に充てる負担金を合計した場合、人口1人当たりの金額は増加することになる。今後はこれらも含めた経費についても抑制していく必要がある。

(公債費及び公債費に準ずる費用の分析)
 近年、大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後、学校施設耐震改修を実施することから、その他の起債発行は抑制し、類似団体平均を上回ることがないよう努める。

(普通建設事業費の分析)
 近年、大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後、学校施設耐震改修を実施することから、その他の起債発行は抑制し、類似団体平均を上回ることがないよう努める。